前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏   (法人にあっては名称)													
名 エヌイーシール株式会社 所 加賀郡吉備中央町湯山1300-15													
本票作成部署名:生産管理部													
主たる業	種	分類 ュード	19	業種名:	ゴム集	製品製造	業						
事業の 概 要	自動	車・	産業機	· 幾械用部品	の製造	보							
	番号	7	工場等の名称					所 在 地					
	1	吉	吉備高原工場					加賀	買郡吉備中央	e町湯山13	00-15		
県内の	2	久	久米南工場					久米郡久米南町上弓削東ケ丘1317-2					
主な	3	美原工場					加賀	買郡吉備中央	上町美原13	01-1			
工場等													
特定事業	者[	/ (1)	然料等原	原油換算1,	500klL	↓上 □ ②	②バス・ト	ラック100台	台、タクシー2507	台以上 🗌	③CO <sub>2</sub> 換算3	3,000t以上	
の該当要			L場等(	の数		3 Ē	听	●車両	台数 (②該	当の場合)		台)	
温室効果な	i 7   †	上淮左	F度(平	△成 26	年度)	(	平成 2	28 )年	度排出量	目標年度	(ग्रांके ३	31 年度)	
排出量		区中一		21, 353 t		( -	十八八 2		及19F山里 33 t CO <sub>2</sub>	口际干及	21, 143		
1分111里		番号	1			<b>夕</b> 称		22, 00		8 )年度	排出量	t CO2	
	F		工場等の名称 吉備高原工場				9, 841 t CO <sub>2</sub>						
	┝	2		南工場							7, 817		
主な工場	-	3	美原二								4,874		
の排出量	:  -	•	<i></i>	<u> </u>							1, 0, 1	t CO <sub>2</sub>	
	F											t CO <sub>2</sub>	
	F											t CO <sub>2</sub>	
	<del> </del>				- b								
  削減目標		計画期	期間:			7 年度		~	平成 31		•	箇年度)	
達成状況				出量基準	( 2		年度削溽		目標削減		目標道		
		<b>✓</b>	原単位	立基準		1. 3	}	%	1.0	% 🗸	達成	□未達	
(原単位基	淮	星室効	果ガスの	の排出量と額	密接な関	係をもつ	値の内容			位当たり排			
の削減目標	を	:						基準年度   ( 28 ) 年度   目標年度     72.7   71.7   71.9					
選択してい 場合に記入								72.7 g CO <sub>2</sub> /(千個 ) kgCO <sub>2</sub> /(千個 ) kgCO <sub>2</sub> /(千個 )					
								Kg C02/	(TIED) Kg(	202/(17回	KgCO <sub>2</sub> /		
(該当事業ベンチマー				 の名称		ベンチ	マーク扌	上世	関連数値	(平成 28	8 年度)	達成率等	
指標の状		<b>√</b> ⅓ :	<b>外</b>	<u> </u>		·	, /1	口尔	肉定效胆	X 1 13% Z(	· 十戌/	生水十寸	
		<u></u>	≟ar ∤ar ¶		<u> </u>								
【削減状	(九(/)	日二	武性										

電気使用量自体は生産数と比較すると増加傾向にはなりますが、排出係数の変更等で目標に対しては 達成できた。今後はより効率のよい生産をするため生産計画体制の見直し・営業サイドとの連携によ り平準化された生産を押し進めていきます。

7	1//:	准	1+	41	ľ
U	推	1年	145	邢	

省エネ法に基づくエネルギー管理体制の構築 環境IS014001導入(2001年度)による組織作り、削減目標の設定、継続的改善の実施

「日博削減家達成のために宝族」を世界及び今後の取組し

 【目標削減率達成のために実施	<u> </u>
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
・全工場	(28年度実施分) ・不良削減による電力・燃料消費量の低減を実施しました。 ・エア漏れの修繕。 ・高効率照明への切り替え(約75%済み) ・コンプレッサーや照明に関して高効率設備を導入しました。
	(今後実施予定分) ・断熱・排熱対策を行い、冷房効率をあげ、電力使用量を削減します。 ・単位時間当たりの生産数を増やし生産性の改善を継続する。 ・不良削減による電力・燃料消費量の低減を継続する。

【森林作	保全等吸収源対策への取組】
N AMAZINI	1 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I

TABLE 1 1 1 1	[						
県内で の取組	無						
その他	無						

## 【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【その他特記事項】